



たかまる通信 第4号

2004.5.15

討議資料

発行

福岡たかまる後援会

TEL 0952-30-0555

e-mail takamaro@takamaro.jp



特集!

ミャンマー訪問記

TODAY'S REPORT

TAKAMARO FUKUOKA

「たかまる通信」も今回で4号目。ずいぶん暖かくなってきましたが、佐賀での生活は東京で生活していたときと比べて、身近に季節の移ろいを感じることができます。今号では、3月の中旬に訪問した「ミャンマー」のことを書いていますが、日本に帰国して改めて郷土の肥沃な大地の力を感じました。我々が、日頃当たり前だと思って何げに享受していることが、日本を離れてみるとすごく有り難かったりするものです。政治もそうありがたいものです。

「ミャンマーが 教えてくれたこと」

ミャンマーについて

東南アジアの西に位置するミャンマー(旧ビルマ)。人口は約四千五百万人で国土は日本の約一・八倍の六十七万八千五百km²。約七割を占めるビルマ族のほか、百三十五もの民族が居住しています。一九八八年からは軍事政権下にあります。

日本との関わりで言うと、第二次世界大戦中「ビルマ戦線」は大変な激戦地で、説には派遣された三十三万人の兵士のうち十九万人もの尊い命が失われたといえます。その主力部隊の中には久留米の「龍部隊」、「菊部隊」などがあり、佐賀からも多くの方が赴き、亡くなられています。



国名	ミャンマー連邦(The Union of MYANMAR)
通貨	チャット(Kyat)
言語	ミャンマー語・固有言語・英語

ミャンマーの国内線で上空を飛んでいるときに、自然とある思いにかられました。日本からこんなにも遠く離れた、しかも衛生環境も悪いこの地で、多くの先輩方が祖国を想い、尊い命を捧げられた。現在の我々があれのはその先人たちが築きあげた礎があればこそで、哀悼の意とともに感謝の気持ちを持たなければならぬ。そして、二度と不幸な戦争をおこさないようにしなければならぬ。

ミャンマー訪問の目的

今回の訪問は、佐賀に拠点を置く特定非営利活動法人「地球市民の会」の教育支援・農業支援のための視察ツアーで、三月十三日から十九日までの七日間のスケジュール。国連から最貧国に指定されるなど、貧しい国ミャンマーの中でも貧しいとされるシャン州を中心とする多くの施設を見て回りました。全国からの地球市民の会の会員のほか、農業支援ということもあってJA佐賀からも五人が参加されました。

学校自体が絶対的に不足する現状において、学校・寮の建設や奨学金などのサポートを検討することが目的の一つ。そして、堆肥



シュエダゴンパゴダ

を利用した循環型の農業を育成することがもう一つの目的でした。

しかし、私自身にとっては自分を見つめ直すとともに、多くを考えさせられる貴重な旅となりました。特にミャンマーの人々の心の豊かさに触れたときに、日本が物質的な豊かさ引き替えに失ってしまったものが、そこにはある気がしたのです。



シュエダゴンパゴダにて



授業をうけるミャンマーの子どもたち

ミャンマーの人に学ぶ

インレー湖のほとりにある、ある寺院を訪ねたときのこと。船を降りるときに、湖岸にいる幼い少女がすつと手をさしのべてくれました。そして、屈託のない笑顔を向けてくれたとき、自分は同じようなことが自然にできるだろうか少し恥ずかしい思いがしました。

ミャンマーの人には、相互扶助の精神があります。自分のことよりも、他の人の役に立つ、地域の役に立つといったことです。ある地域では、学校を建設するために子供がいないところも含めて全家庭がお金を出し合って、学校を建設していました。



伝統的な漁法

また、親や目上の人を心から尊敬します。「自分たちが現在あるのは、年配の人たちが築きあげてくれたおかげ」と思っているので、年配いた人を養うのは当然だとも思っています。多くが敬虔な仏教徒であるミャンマーの人々は「欲望、怒り、妬み」を持たないように教えられて、とても慈悲

深いです。

日本では、自分さえよければという個人主義に走りすぎているくらいがあり、その傾向が犯罪の増加や、自殺の増大などを招いているともいえます。国を作るのは、あくまでも人です。今こそ精神的豊かさを取り戻すべく、我々は地域社会の再興や、教育のあり方を考えてかなければいけません。

ミャンマーは非常に貧しいながらも、まず国を作る礎となる人材育成に力を注いでいます。日本も厳しい時代だからこそ、まずは人作りに力を入れるべきだと考えます。



出家した子供達

われわれができること

今、ミャンマーは軍事政権下であることもあり、日本からのODAは一部を除き凍結されています。こういったときこそ、民間の交流が大事だと思います。彼らに「援助」するといった立場ではなく、対等な関係の中でお互いができることを考え合うことが大切だと思います。



乗り合いタクシー

ミャンマーでは、都市部をのぞき、いまだに電気やガス、水道といった生活インフラが整備されていません。燃料のために森林を伐採することが、環境を破壊するだけでなく、多くの人が従事する農業においても、その土壌を荒廃させる要因となっていると、同行の環境コンサルタントの方は指摘されていました。森林が土壌の保水などに役立つといった知識を彼らにしっかりと教えるとともに、地球規模での環境保全のために我々ができる

ことをもつと考えていく必要があるでしょう。ミャンマーで感じたことは戦前戦後のわが国の情景がそこにはあり、当時私たちが大切に守り育ててきた「日本の心」と似通う人としての生きる道があったことです。年輩の方、若い人を問わず、今私たちがこれから地域を、日本をどうしていかなければならないか、あらためて考え直す時期に来ていると思います。



井戸水。水のありがたさを痛感

ホームページが新しくなりました

毎日更新



ホームページが新しくなりました。これまで、更新が遅いなどの苦情をすいぶん頂きましたが、今後は毎日更新していきます。一部工事中のところもありますが、皆様方のご意見を頂きながら、随時見直しを行っていくことで、充実したホームページにしていきたいと思います。ぜひ、「お気に入り」に登録し、時間の空いた際に眺めてください。

また、いろいろなご意見もお待ちしております。

● 活動報告

毎日の動きを写真を交えてご報告します。たかまろが、どこで何をし、見て、感じたのかを自ら綴っていきます。

● 意見への投票

たかまろの考えをあなたがジャッジ。いろんな考えを掲載していきますので、その考えに「賛成」か「反対」かを投票してください。グラフでその状況が確認できます。「反対」が多かった場合にも、理解して頂くべく再度違った視点から意見を書くなど、めげずにやっています。と思っています。

● コラム

いろんなコラムを掲載していきます。また、たかまろ通信の文章なども掲載していきますので、バックナンバーとしてもお使い頂けます。

● ボランティア募集

何かの作業が生じ、事務所スタッフだけでは人手が足りない場合など、ここでボランティアの募集をさせて頂きます。具体的な日程や、作業内容などもお知らせしますので、時間のある方はお手伝いを頂ければ幸いです。

● 献金募集

ネットからの献金をお願いします。銀行に行く手間が省ける上、手数料などもあまりかからないシステムを模索中です。ご協力お願い致します。

● メールマガジン

メールマガジンも発行していきます。是非、ご登録ください。

憲法改正を思う

五月三日は憲法記念日とあって、各メディアなどで憲法論議が展開されました。今ほど改憲について具体的な議論が行われることは、これまでなかったのではないのでしょうか。世論調査などを見ても、改正を可能とするに近い数字があがってきています。

私は改憲に賛成です。時代とともにそぐわなくなっている部分を改めるとともに、自分たちの手で自分たちの憲法を作り直すべきだと思います。

憲法とは言うまでもなく国の最高法規です。憲法の条文と現実との間に乖離があり、解釈でむりやり「合憲」と説明することが、政治や社会を分かりづらくしています。論点を整理し現実在即したものに改め、そして誰しもが理解共感できるような憲法創出を目指していくべきです。

国際貢献や、国会制度、環境権、知る権利とプライバシーの保護などいろんな論点があります。何と云ってもさげられないのが「九条」でしょう。私は九条も当然改めるべきだと思っています。憲法改正論議の際に、反対派の方の多くは「世界に誇る平和憲法を死守すべきだ」と言われます。私も平和憲法の精神は何としても残さなければならぬと思う一人です。国民のほとんどは「戦争の放棄」を望んでいます。しかし、専守防衛としての自衛隊は明記すべきだし、紛争時の集団的自衛権も含んだ国際貢献のあり方については盛り込むべきだと思います。

自民党は、二〇〇五年十一月の結党五十周年に合わせて憲法改正草案をとりまとめると思っています。熱い、踏み込んだ議論を期待したいと思います。

佐賀地区防衛協会

青年部会長に就任



民間から自衛隊の活動への理解・促進を図る「防衛協会」。5月8日に佐賀地区（佐賀市、多久市、佐賀郡、小城郡）の防衛協会総会が開催され、福岡たかまろが青年部会長に就任致しました。当日は、協会とともに青年部結成式が行われ、福岡たかまろが青年層への理解促進に微力ながら全力を尽くす旨、挨拶させて頂きました。そのほか、古川知事による講演や演奏会、懇親会などで長時間にわたり大いに盛り上がりました。

7月は参議院選挙

7月には、参議院選挙が行われます。6月24日公示、7月11日投票というスケジュールになると思われます。

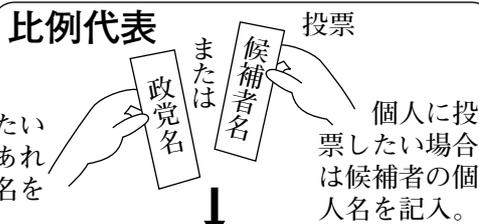
私も、自民党员として佐賀選挙区の必勝と、全国区比例での自民議席の1議席でも多い確保のために頑張ってお参ります。

ところで、参議院選の投票システムは少し分かりづらいのでご説明します。有権者の方には選挙区（地方区）と比例代表（全国区）の二票を投じて頂かなければなりません。比例代表では、個人名・政党名のいずれを書いても有効ですが、個人名記載者数により政党内の名簿順位が確定するシステムになっています。

しくみについての分かりやすい表を添付しますので、ご参照ください。

比例代表・非拘束名簿式の仕組み

投票二票制



1 各政党の総得票数を計算

候補者名が記入された票は、所属政党に与えられた票として合計。これに政党名が記入された票の数を加える。

A党の場合

○川○子	=30万票
□山□夫	=18万票
△村△郎	=9万票
A党	=15万票
合計	=72万票

2 「ドント式」により各政党の当選者数を比例配分

各政党の総得票数を1、2、3...と順に整数で割っていき、答えの大きい順に議席を配分。この方式で当選者数を各党に割り振る。

	C党	B党	A党
得票数	150万票	90万票	72万票
÷1	150万①	90万②	72万④
÷2	75万③	45万⑥	36万⑧
÷3	50万⑤	30万⑦	24万
÷4	37.5万⑦	22.5万	18万
÷5
...

3 各政党の当選者は、政党内の得票順で決定

政党に対して決定された当選者数に応じ、各政党内部での個人名による獲得票数の多い者から順に当選が決まる。2人が当選と決まった場合のA党なら、得票数1位の○川○子と2位の□山□夫の2人が当選。

A党の場合

○川○子	=30万票=1位→当選
□山□夫	=18万票=2位→当選
△村△郎	=9万票=3位→落選

「冬のソナタ」を見て

韓国のドラマ「冬のソナタ」が日本で大ブレイクしています。「冬ソナ」と略されるこのドラマ、関連本などもたくさん出ていて、携帯のストラップなども売れているそうです。チュンサンを演じた、ペ・ヨンジュンは「ヨン様」として日本でも絶大な人気を誇っています。私の姉も、そんなヨン様ファンの一人です。ドラマを見てみると、チェジウ扮するユジンとチュンサンの純愛ストーリー。毎回、すごく切なくなるようなシーンが満載で、興味本位で見始めた私もはまってしまっています。ドラマを通して思うのは、韓国は儒教の国だけあって家族愛や親子の絆を感じさせること。核家族化が進み、対人関係も希薄になりつつ



イラスト：堤 理恵さん

ある今の日本では、そんな家族愛や、友情、途な愛などが逆に新鮮に映るのではないのでしょうか。ドラマでは、道に迷ったときの道しるべとして「ボラリス（北極星）」を探すシーンがあり、社名などにも使われています。私も、迷ったときなど「何が大切なものか」という道しるべを持ち、自分を見失わずに生きていきたいと思っています。

たかまろう 政経フォーラム開催

演題 「中国の台頭と日本」

講師 国分 良成先生



昭和28(1953)年11月1日生まれ
 ■専門 現代中国政治・外交、東アジア国際関係
 ■学歴 昭和51(1976)年 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
 昭和56(1981)年 慶應義塾大学大学院政治学専攻博士課程修了
 ■職歴 昭和56(1981)年 慶應義塾大学法学部専任講師
 昭和60(1985)年 慶應義塾大学法学部助教授
 平成3(1992)年 慶應義塾大学法学部教授(現在に至る)
 平成11(1999)年 慶應義塾大学地域研究センター所長
 平成15(2003)年 慶應義塾大学東アジア研究所所長(旧地域研究センター)
 ■留学 ハーバード大学・ミシガン大学・中国復旦大学・北京大学・台湾大学
 ■主要著書 編者 「現代中国の政治と官僚制」 慶應義塾大学出版会 2004年
 「中国政治と東アジア」(編者) 慶應義塾大学出版会 2004年
 他多数

このたび、勉強会を立ち上げることにしました。その名も「たかまろう政経フォーラム」。いろんな分野から先生をお招きし、私も皆様方とともに「高まろう」という試みで、年に四~五回開催していきます。第1回目は6月12日(土)。講師は、私の母校の政治学科の先生で、剣道部の顧問もして頂いていた国分良成先生。中国をはじめとするアジアのエキスパートです。

是非ご参加ください。

日時 平成16年6月12日(土)
14:00~(約1時間半程度)

場所 エスプラッツホール
会費 500円

※尚、お車でお越しの場合の駐車料は各人のご負担になります。ご了承ください。



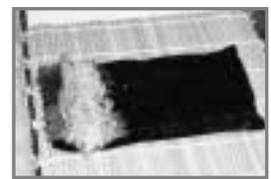
料理が趣味のたかまろうが、男性でも簡単にできるお料理をご紹介します。今号は、ビールやお酒のおつまみに、簡単に作れるレシピをご紹介します。是非一度おためしください。



「光りものとガリの海苔巻き」

材料(分量は適当)

- 光りもののお魚(アジ、サバ、コハダなど)・・・今回はしめさばを使用(少し酢で締めたものがよい)
 - ガリ(お寿司用の生姜の甘酢漬け)
 - 大葉
 - いりごま
 - 海苔(有明海産を使用)
- ① 海苔を軽くあぶる
 - ② 光りものの魚を薄く切る
 - ③ 大葉のへたを落とし、ミョウガを繊維に沿って縦けんにする
 - ④ ガリを細く刻む
 - ⑤ 巻きすの上にあぶった海苔を広げ、しめさばと魚を乗せ、その上にミョウガ、ガリを均等に置き、ごまをふる
 - ⑥ すだれを巻いて、適当な大きさに切り、醤油を漬けて食べる



作業風景

事務所スタッフ紹介

福岡たかまろう事務所では、現在5名(佐賀事務所4名、鳥栖事務所1名)の常勤スタッフと1名の非常勤スタッフの計6名で活動をしています。今号から、3号にわたり事務所のスタッフを2名ずつご紹介致します。(原稿は各人が執筆)



鬼崎 善利
 申します。ただ今五十歳。福岡資鷹との差は二十歳。そろそろ身体にムチ

を打たないと、走れ回れないかもしれませんが、皆様の心温まるお声を聞けば、頑張る力が倍増します。

佐賀市金立町で生まれ、五歳の時引越をしながら大和町在住。多趣味で何にでも首を突っ込む性格。ただし、これも一人前になる事はなかった。これからは三十歳に見えるようなベストドレッサー賞を取る事が目標です。



吉浦 節子
 水と緑のきれいな富士町で生まれ育ちました。現在は大和に住んで二十

年。二十六歳(娘)と二十二歳(息子)の二人の子どもがおりますので年齢はみなさんにお任せします。

まろさまに、置いてきぼりにならないようにと生懸命の毎日です。

皆さんちょっと聞いて下さい。うちの事務所(まろさん、深川所長、鬼崎さん)B型人間なんです。わかってくださいますよね。ちなみに私は人に逢うのが大好き人間です。

是非一度事務所にお出掛け下さい。お待ちしております。

おわりに

五月九日は、私の誕生日。三十三歳になりました。精神的にも一回り大きくなれるように頑張っていきたいと思います。この年で、人生初の浪人を味わっています。すが、すごく貴重な経験をさせて頂いていると思います。何より、受験浪人とは違って、自分の好きなことを好きなだけ勉強することが出来る。しかし、一方でノルマがあるわけではありませんが自分自身に厳しく、目標を見失わずに邁進していきたいと思えます。そしてそれを支えて頂いているのが、皆様方からの熱い支援です。サポーターを募集しますが、すでに多くの方に参加して頂きました。本当に有り難うございます。皆様方のご期待を無にしないためにも頑張ってお参ります。今後ともよろしくお願致します。

サポーター募集中です!!

皆様方のお支えがないと日々の活動ができません。たかまろうサポーターズ・クラブの会員を募集しています。年間2000円から(千円単位)受け付けております。サポーターの方には「たかまろう通信」を郵送いたします。(郵送先は、電話もしくは、メール、ハガキ等でお知らせください)知人等にも是非お声がけください。よろしくお願致します。

振込口座

佐賀銀行 県庁支店 普通 1480907
「たかまろう21」福岡 資鷹

※この口座は公職選挙法により個人献金しか受けることができません。
 ※企業での献金につきましては、別途届出団体にて受けておりますので、後援会事務所にご一報いただければと存じます。

発行/福岡たかまろう後援会

〒840-0804 佐賀市神野東3丁目2番13号
 TEL 0952-30-0555 (さんびゃく、ゴーゴー)
 FAX 0952-30-0700 (さんびゃく、ななびゃく)
 e-mail takamaro@takamaro.jp

※ いろいろなご意見、ご案内を是非お寄せください。

鳥栖事務所 〒841-0052 鳥栖市宿町1436
 TEL 0942-82-3801
 FAX 0942-82-3345